

2021 年度 re:Joyin 育成プログラム概要



株式会社リジョイン

リジョイン育成プログラム概要

リジョイン育成スクール案内へようこそ！

2021年度のリジョイン育成プログラムは、これまでの経験と状況の分析から、より濃密に、効率的に見直したことで、大きく変化しました。

2021年度のプログラム内容について、ご紹介します。

【2021年度の育成プログラムで目指すものは「Save Precious Kids !!」】

リジョインでは、実子であれ、養子であれ、自分の命を流したいと思う小さな存在を、「子供」と定義します。

「Save Precious Kids !!」のための、核となる柱が二つあります。

- 1、子供のために、自分の命につながること
- 2、子供のために、心がつながったパートナーシップを創ること（愛のカップ）

そして、この二つの柱に責任を持つこと、つまり、子供の人生に責任を持つこと。これを、「Precious Accountability」と定義します。

「Save Precious Kids !!」のためのステップは、以下の3ステップです。

ステージ1：自分のクリエイティブ感覚とクリエイティブ思考につながる（自分の命につながる）

ステージ2：パートナーと愛のカップを創れる自分とパートナーになる

ステージ3：愛のカップ温泉に子供を招待する

子供が本来持っている本質「愛、魅力、才能」を、安心して自由に感じ、自分の中にある「自分本来の命からくる未来への感覚」を、潰さずに、壊さずに、そのままの形で社会へ出してあげたいと、親は皆願います。

そのためには、愛で繋がった両親という土台が必要なのです。

愛で繋がった両親の安心の中で、つまり、愛のカップ温泉の中で、子供は本来の自分を感じ、自由に成長させ、感動することができます。

愛の土台がない仕事やお金、家庭のマネジメントは、「役割」になります。

「役割」は、感覚という心を切り離れた状態をつくり、やがてロボットになってしまいます。そこで子供が感じる感覚は、不安で、冷たく、いつの間にか自分より相手のご機嫌を伺う警戒の状態になります。

パートナーと向き合うことは、大きなリスクが伴います。ぶつかったり、拒否されたり、自分が一番大切にしている感覚を否定されたりと、傷つく可能性が多分にあるからです。もしかしたら、その向こうには「別れ」というものを感じているかもしれません。

だったら、壁があっても、寂しさは趣味や他のもので慰めればいい、しょうがない、諦めよう、そうになってしまうのが一般的です。

そして、不機嫌な時間が増えたり、ちょっとしたことで言い争いになったり、そうなりたくないから距離をおいたり、パートナーが家にいない一人の時間にほっとしたりと、家族の空気が、知らない間に冷たくなっていくのです。

「Save Precious Kids !!」のために「Precious Accountability」を持った時、初めて、「自分のためにだったら頑張れない、諦めたほうが楽だったという領域」に、踏み出すことができます。大切な、自分の子供のためにと。

子供が本来持って産まれた

- ・ 誰かと繋がりたい愛
- ・ 誰かのために役に立ちたいと、本質を感じる仕事
- ・ その仕事のための才能
- ・ 生命力という魅力そのもの

を守り、育て、本来の姿のまま社会へと導いてあげることができるのは、親のあなただけなのです。

そして、子供のために頑張った結果、「こんな景色を見ることができるのか」と、「頑張ってたよかった」という場所へと辿り着く自分を発見できます。

繰り返しになりますが、リジョインでは、「実子または養子」を子供と定義しています。

そのために、2021年度の育成プログラムは、根本から内容を見直し、濃密に、効率的に進めていきます。

また、リジョインは、「Save Precious Kids !!」のための「Precious Accountability」をサポートできるカウンセラーを育てていきます。コミットと共に、「カウンセラーになりたい」という声を待っています。

【現実的で感覚につながった APS を作成すること -Vision Sense がゴールに導く-】

本質の感覚につながらずにズレセンサーで出会いに行くと、うまくいかない人を好きになり挫折をクリエイトし、好きではない人に好かれて「いい人はいない」と絶望をクリエイトし、頑張るほどにズれていく、デモリションライフを一生懸命クリエイトしている状態になります。

パートナーと向き合っても、ズレからコミュニケーションして分かり合えず、喧嘩をして、好きな気持ちからどんどん遠ざかり、溝を創り、その両親といる子供も、次第に心を閉ざして行く、というデモリションライフをクリエイトします。

この「デモリションライフ」から「クリエイトライフ」へと修正するためには、APS が非常に重要になります。

第一階層がズれていないこと。

第三階層が、適切に開いていること。

字面だけで APS を作成し、感覚につながらないままロボットのように APS をこなしても、デモリションライフまっしぐらになります。

第一階層が適切な WANT を設定できたら、感覚でゴールを掴むこと。

自分の感覚が「そこに行きたい！」「それを経験してみたい！」と焦がれている状態。

この、「Vision Sense（ビジョンの感覚）」につながって初めて、APS は完成します。

「第一階層が適切で、第三階層が Vision Sense に繋がった状態の APS を作成すること」

これが、重要なポイントになります。

そのため、2021 年度は、前半に APS 講座を取り入れ、クリエイトライフのための APS 作成を学びます。

また、昨年度は、皆さんの自分カウンセラーと自分クライアントが持ってきた「WANT、課題主訴」のズレをあぶり出すために、自分カウンセラーへの働きかけを主として進めましたが、今年度は、デモリションライフからいち早く脱出するために、トレーナーが WANT や APS に積極的に介入します。

感覚が本質の WANT につながっているか？

その上でマイルストーン（アクティビティリスト）を作成、実行できているか？

こういったズレの修正を視野にいれたアセスメントを、十分に行なっていく予定です。

【APS の土台の上で、「Sense Development」「Psychic Development」に取り組む】

<Sense Development>

ハートが大好きを感じていないのに、思考だけで「こんなに頑張っているのだから好き」と言われても、愛は響いてこないし、つながりも感じられません。

本当の自分は、思考ではなく、感覚に宿るのです。

本質の感覚につながった思考が、クリエイティブを創造します。

感覚が閉じていては、せっかく第一階層で適切な APS を作成しても、「Vision Sense」を感じる事ができないため、APS も完成しません。

感覚は、あなた自身であり、あなたの命であり、人生を創る源です。

幼少期、私たちは「感覚」だけで生きていました。

感覚は、両親からしか学べないので、感覚の状態は、両親との関係性が大きなカギになります。

先に述べたとおり、この、愛のカップ、愛の土台がない状態では、関係が役割になってしまい、攻撃したり、本心を隠したり、警戒したり、偽ったり、フリをしたりと、温泉が冷えて、干からびた状態になります。

子供は、大好きな両親から感覚を学ぶので、同じように、ふりをしたり、警戒したり、攻撃したりするようになります。それが嫌なので、感覚そのものをなかったことにする場合もあります。

こうやって「本来の自分」＝「本来の感覚」を見失い、せっかく本当に愛を感じ合えるはずのパートナーに、攻撃や警戒で接してしまうことになり、ずっとつながらない孤独のデモリションライフになってしまいます。

本来、

お父さんは、愛と経済力で、家族の心と体を守る。

お母さんは、お父さんに守られた土台の中で、愛を与える。

その中では、子供は「守られたい」も「守られている」も感じません。

ただ、「安心で自由」な感覚だけ。

この愛のカップの中で両親に愛され、触れ合った感覚が、子供が持つ本来の人とのつながりの感覚を育てるのです。そして、これが Precious Kids の源です。

「Sense Development」では、この感覚の蓋を外して、感覚を開き、「本来の感覚＝本来の自分」を発見し、養育していきます。

<Psychic Development>

サイキックとは、「愛そのものを共鳴する力」です。

サイキック能力が高い人は、上記の「幼少期の感覚+サイキック能力で感じた感覚」がコンフューズ（混乱）しているため、この二つを分けて理解し、自分の愛を養育する必要があります。

この社会では、Pritend（ふりをする）という警戒心が当たり前ですが、サイキックが高い人は、そのことに恐怖し、さらに自分を隠すようになり、生きづらくなります。ただ、愛の純度が深いだけなのに。

そして、社会や人と距離をとり、大好きなパートナーにも自分が本当に感じていることを言えず、自分さえも自分が感じていることがわからなくなってしまいます。

そして、このコンフューズが解けるまで、人間関係をデモリションし続けることになります。

サイキックが高い人は、コンフューズを解かなくてはいけないので、Sense Development で述べた「感覚の蓋を開く」というメソッドだけを行っても、このコンフューズが解決しないため、本来の感覚を取り戻すことはできません。

自分らしさを開花せずに、自分を隠し、大切な人と距離をとって生きるか？

才能を適切に養育し、Hight Quality Want を生きるか？

サイキック能力を持って生まれたからこそ得られる Hight Quality Want、純度の高い愛のすべてを子供に流すこと、子供との深い愛の時間を満喫すること。

サイキックなあなたの Vision を実現するために、Psychic Development で自分に向き合います。

◆Psychic Development Program（予定）

- 1、サイキックを適切に認識する
- 2、社会（人）とのズレを知る
- 3、社会（人）との間の「自分取り扱い説明書」を作成する
- 4、実際に活用する
- 5、サイキックな日常を生きる
- 6、愛のカップに「与えたい命」を招待する

【スーパーバイズ -Supervise-】

想像してみてください。

お友達がみんな帰った保育園で、外は真っ暗になり、最後の一人になっている2歳半の子供をお迎えに行く時。

「早く迎えに行って安心させてあげたい！少しでも早く着きたい！」

この気持ちに迷いはなく、一瞬も頭から離れることはないでしょう。

同じように、感覚の中心から自分が望む WANT につながった状態、「Vision Sense」の状態になったら、「少しでも早く WANT を実現したい！」となります。

WANT を実現するクリエイティブな感覚が自分の本質感覚だと知ったら、例えば、喧嘩をしていますが、攻撃やぶつかる喧嘩から、つながり、作り上げるための話し合いに、すぐに移行できるでしょう。

「APS 講座」から、「Sense Development」、「Psychic Development」を経て、さらに、今まで体得した自分カウンセリング力を実行してみて、Precious Accountability へのストップポイントを、ぜひ、SV に持ってきてください。

ここまでの育成を通して、皆さんの感覚にある譲れない WANT を皆さんより知るトレーナー二人が、ぐいぐい Precious Want へ、クリエイティブライフへと引っ張ります！

【育成だからこそ進める、成長できる】

自分の感覚やサイキックに正しくつながった後は、養育することが重要になります。

面談カウンセリングは、非常にプライベートな場ですが、育成は「社会」の要素を持っています。

今年度は、育成という「安全な社会」の中で、育成の仲間にも、自分の感覚やサイキックを開いていきます。

そうすることで、

- ・ 傷つける場所から話す、ズレたコミュニケーションを知る
- ・ 傷つける場所から話す、ズレた思いやりを知る
- ・ 愛から言葉を発する、愛のコミュニケーションの練習

というような、自分のパターンを知り、コミュニケーションする練習になります。

社会で傷ついたからこそ、社会で成長することができるのです。

【命を流す場所に来て初めて、自分の存在価値を感じられる】

愛のカップ温泉に子供を招待し、自分の命を真っ直ぐに流せる場所に来た時、自分が与えたかったものを与え、それを受け取る子供が、安心の中で、自分を発見し、成長させる姿を見ることができます。それを目撃した時、自分が生まれてきたことの意味、苦しんできたことが報われることがわかります。

本質から笑う子供を見た喜びを、自分と同じ深さでパートナーと共有できた時、心の深くにずっとあった絶望と孤独が、現実をもった希望に変わります。

世界に愛がなかったから絶望したあなたが、はじめて希望を感じる瞬間です。

パートナーとの愛の循環が子供へと流れ、子供を通して、その先の未来へと続いていく。その循環の最初の流れをつくる人になること、それがリジョインの育成が目指す場所です。

最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

ご興味をお持ちいただけましたら、ぜひ一度、説明会などにご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております！！

株式会社 リジョイン
代表 真田雅一 & 村本明嬉子